

平成 29 年産水稻の作柄について

1 平成 29 年産水稻の被害状況

(生育状況)

本年産の水稻は、田植え（最盛期 5/28）以降、6月の低温傾向により初期生育が緩慢であった。しかし、7月上旬から中旬が高温・多照に推移したことから、出穂期は平年に比べ1日早く（最盛期 8/9）、生育は平年並みであった。出穂期から9月にかけては前線や低気圧、台風 18 号の影響で曇りや雨となる日が多かった。9月中下旬の日照不足はあったものの、登熟・作況指数ともに「平年並み」となった。（作況指数 100 12月5日公表）

(被害の発生状況)

山梨県のほぼ全域で、前線や低気圧、台風の影響による風水害が発生した。また防護ネット等の対策を講じたものの、山間地を中心に、イノシシやシカ等による食害・踏み倒しの被害が発生した。一部の地域では、田植え期前後の降水量不足による干害が発生した。8月中旬の低温や日照不足の影響により常発地を中心に穂いもち病による被害や、出穂期における降雨等の影響により、一部の地域でもみ枯細菌病や内穎褐変病による被害が発生した。このほか、虫害や鳥害が発生したものの、被害は軽微であった。

(被害状況)

災害名	災害別割合	被害面積(a)	共済減収量(kg)	地域名
獣害	44.0%	1,039.7	17,479	須玉、高根、富士吉田、道志等の山間地
風水害	32.2%	1,786.9	12,802	中道、玉穂、高根、長坂、都留等
干害	11.3%	293.9	4,492	櫛形、韮崎、都留等
病害	5.9%	198.7	2,335	玉穂、大泉、都留等
鳥害	3.8%	148.0	1,512	甲府、玉穂、都留、大月等
虫害	2.8%	113.6	1,128	櫛形、都留、秋山等
合計	—	3,580.8	39,748	